

資料配付の場所・日時

1. 筑波研究学園都市記者会(資料配付)
 2. 国土交通記者会(資料配付)
 3. 国土交通省建設専門紙記者会(資料配付)
- 日時: 令和6年12月26日同時配付



令和6年12月26日
国立研究開発法人 土木研究所

床版の長寿命化を支援する AI システムを初公開！ ～橋梁診断支援 AI システムの公開、システム説明会の開催～

国立研究開発法人土木研究所は、2018年より、道路橋の診断を支援する AI システムの開発を官民共同研究で実施しています。

今回、RC 床版の診断支援システムについて公表することとしましたので、お知らせいたします。また、システムに関するオンライン説明会を2月5日(水)に開催します。

1. 橋梁診断支援 AI システム(RC 床版)のポイント

橋の長寿命化を進めるためには、インフラに不具合が生じる前に適切な対策を行う「予防保全」が重要です。土木研究所では、橋梁の予防保全を支援するため、橋梁診断に関する専門家が持つ知識や思考方法をもとに、システムを開発しました。対象橋梁の諸元情報や点検情報等を入力することで、RC 床版部材を対象に、診断結果とその理由、措置方針等を提示します。

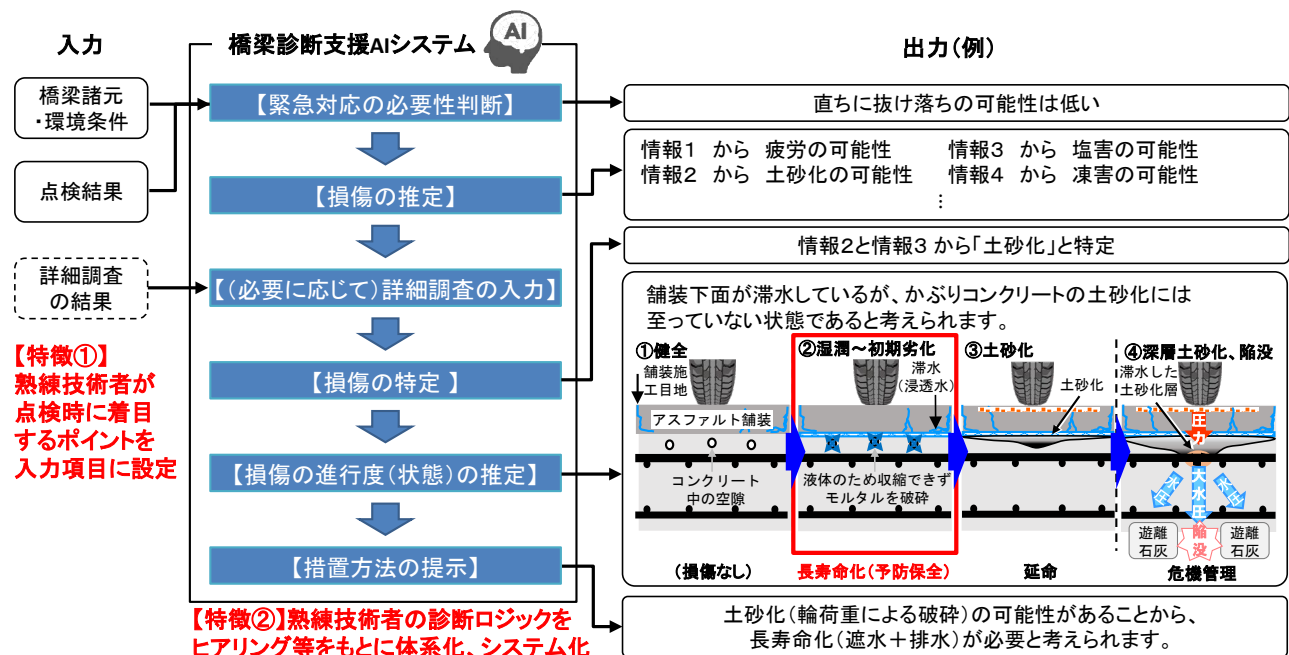


図-1 橋梁診断支援 AI システムのイメージ

2. 橋梁診断支援 AI システム(RC 床版) ダウンロードページ

橋梁診断支援 AI システムは以下の Web ページにて公開しています。また、システムの根拠となっている、熟練技術者の点検時の着目点や診断ロジックを体系化した「診断セット」についても、あわせて公開しています。

【URL】

<https://www.pwri.go.jp/caesar/activity/research/40-diagnosis-support-technology/ai-system.html>

3. 橋梁診断支援 AI システム(RC 床版) オンライン説明会の開催

システムの利用を検討している道路管理者や民間企業、研究者の皆様を対象に、以下の通りオンライン説明会を開催します。説明会は質疑応答を除き、報道関係者の皆様も参加可能です。

【日 時】 令和 7 年 2 月 5 日(水) 14 時～15 時

【形 式】 オンライン(Microsoft Teams を使用)

【内 容】 橋梁診断支援 AI システムの概要、システムのデモ、質疑応答

【参加方法】 事前の申し込みが必要です。以下 URL へアクセスし、所定のフォームに必要事項をご記入の上、令和 7 年 1 月 31 日(金)までにお申し込みください。参加申し込み受付後、令和 7 年 2 月 4 日(火)までに会議用 URL を送付いたします。

【申し込み用 URL】

<https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=4eB9HJl3eUCBvaJsdtKtNWLRIcXUhQNNpnC931Kq5-JUNVRESUpHS0c4WE5FTEhWV0tYQU9VVU4zUC4u>

【そ の 他】 申し込み多数の場合、上記期限よりも前に受付を終了することがあります。

問合せ先

国立研究開発法人 土木研究所 構造物メンテナンス研究センター(CAESAR)

橋梁構造研究グループ 澤田、森本、新倉 Tel: 029-879-6773